

愛知県立芸術大学キャンパスマスタープラン2011作成委員会議事要旨

第1回

開催日時：平成23年9月9日（金） 午後2時から午後3時40分

場 所：愛知県立芸術大学 管理棟 3階 大会議室

出席者：別添名簿のとおり

【議題】

- 1 キャンパスマスタープラン2011作成委員会の設置について
- 2 検討の進め方について

【決定事項】

○愛知県立芸術大学キャンパスマスタープラン2011作成委員会設置要綱を全会一致で承認した。（要綱第5条により委員長をおき、施設整備委員長を委員長にあてることとした。）

【主な発言要旨】

○昨年度、外部の有識者や学生・卒業生の代表等も交えた「愛知県立芸術大学施設整備ビジョン検討会」を設置し、報告書を取りまとめた。今回は、昨年度取りまとめたビジョン報告書に基づき、愛知県立芸術大学キャンパスマスタープラン2011作成委員会を立ち上げて、検討することとした。

○今回は、県から作成依頼があり、陽の目をみるプランとなるので、非常に重要なものとなる。

（とりまとめのイメージについて）

○「今後10年を目処に」と記載されているが、10年以上かかることも想定されるので15年とか、長いスパンで考えることも必要ではないか。

（検討課題の考え方・まとめの方向性について）

○実務的になり、ベースがお金の話となったとき、改築の方が安いというような場合も出てくるおそれがあるので、「オリジナリティを尊重し」というような何らかの表現を入れておいてほしい。

（スケジュールについて）

○昨年のビジョン検討会において学生の率直な意見もあったことを思い出すと、学生や一般教職員の意見の反映のタイミングもスケジュールに入れるべきである。

○表の機能上の問題点として、遮熱、断熱、遮音の項目を起こす。それらの大きな項目

としては建物の環境性能としてまとめられる。

○最新の冷暖房機器については省エネ化が進んでいる。また、改修とともに冷暖房等の環境面の性能向上を考えていくことも新しい技術で対応可能だと思う。

○施設の維持管理だけでなく、キャンパスのインフラ等の維持保全についても、またこの緑に囲まれた環境を将来にわたってどう維持するかということも考えなければならぬ。

○動線や駐車場についてもキャンパスで生活している者として重要である。

次回は11月9日（水）午後2時から開催。